



小中学校事務の共同実施の取組

事務の効率化や教育活動への支援等を目的として、小中学校事務職が定期的に参集し、事務の共同実施を行っています。

今回は、管内16の共同実施組織から2グループの取組を紹介します。



一関Cグループの取組

1 ひとり職場から集まることによる学校事務の進化

月2回参集し、1回目は主に各校の諸手当の相互審査と認定、給与関係諸帳票・サービス関係諸帳票の相互点検作業を行っています。

2回目は研修に重点を置き、校務の情報化についての研究をしています。具体的には、学校事務処理ソフトの開発を以下のおり行っています。

【こども】アプリ

児童生徒データを1つのExcelに保存することにより、「児童生徒名簿」「教科書給与名簿」「指導要録」「小学校出席簿」「修卒台帳」「転出入事務(台帳・在学証明・転学用教科書給与証明書作成等)」「添書」を1つのデータから作成できます。

各学校の共有フォルダーに保存して利用すると、貸与されたパソコンから、担任が直接、学級名簿や出席簿指導要録を簡単に印刷処理できます。

ぜひ、教員の皆さんに利用していただき多忙化解消に役立てていただきたいと思います。

【職員】アプリ

職員データを1つのExcelに保存することにより、「職員名簿・連絡網各種・定数調査作成」「休暇処理票・職専免整理簿作成」「勤務時間関係全般振替簿等作成」「私用車関係」「出勤簿作成」「服務規程等の添書作成」「資金前渡関係」「勤務実績報告(特殊業務勤務記録簿入力のみによる整理簿・入力票作成)」「通勤・住居・扶養手当認定簿や入力票の自動計算作成」「確認簿作成」「期末・勤勉算定表作成」が1つのデータから作成できます。

特に期限付事務職員の皆さんは、給与等に関する諸規定等の理解が短い期間の中では難しいのですが、入力指示が表示されたり、自動計算処理しますので、事務処理が簡単になります。

2 今後に向けて

全国的に「校務支援ソフト」の導入が進んでいます。パソコンに出席データや週録等を入力するとそのデータを利用し、教員が行う全ての学籍事務が行えるばかりでなく、子どもごとにデータを抽出し生徒指導や授業にも活用できるものです。

予算が伴うことから簡単にはいきませんが、ネットワーク環境が充実している一関市だからこそ、ソフト面でも充実するよう共同実施組織として取り組んでいきます。

奥州市第三共同事務室(江刺西)の取組

1 今年度の推進テーマ及び目的

「共同実施による学びの架け橋を目指して」をテーマに学校教育目標の具現化への支援と教育効果を高める学校事務の実現を目指して、グループ作業及び支援作業を行うことで、事務の効率化・平準化を図り、正確迅速で責任のある事務執行を目指しています。

2 組織構成

江刺第一中・江刺愛宕小・田原小・稲瀬小・広瀬小・大田代小・田原中の7校6名で構成しています。

3 具体的な取組

(1) 参集実施(月1回、4月は午前から)

6手当の認定審査・一斉確認事務を行うとともに月例勤務実績点検・情報の共有化・問題事例の共通理解とグループ内での事例検討を実施しています。

(2) 支援実施(月1回程度)

稲瀬小・田原小・広瀬小によるローテーションで江刺第一中を支援しています。

ア 就学援助事務・期末勤勉手当算定表作成等補助

実際に学校に出かけなくても奥州市グループウェアのサーバー内に共同事務室フォルダー・学校毎のフォルダーがあり、お互いが作業できるようになっています。

イ 支援を受ける側が希望する業務

給与・旅費の手引き印刷・中学校理科教育設備台帳の入力作業等を補助しています。

4 今後の課題

奥州市の共同事務室は、組織として確立され、年間の業務についても同じように進められています。今後どのように業務を継続・維持していくか、平準化や教育支援に結びつけていくか、更なるグループ内の協力と推進が求められています。

それぞれのグループにおいて大規模校の支援実施や学校事務処理ソフトの開発、運用等により事務の効率化や平準化が進められています。

今後も学校経営分野や教育活動支援等において、更なる活動の充実が期待されています。

